

# 第28回 中国四国 GHP 研究会

謹啓

時下の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第28回の研究会は、中国四国へと拡大し、「緩和ケア領域における抑うつ」をメインテーマとして開催する運びとなりました。

特別講演は、名古屋市立大学 医学研究科精神・認知・行動医学分野 教授 明智龍男 先生にお願いしております。

明智龍男先生は、日本サイコオンコロジー学会や日本総合病院精神医学会などの代表理事、代議員を務められており、今回の特別講演では、「がん患者のうつ病・うつ状態の評価とケア」について御講演いただく予定です。ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：令和4年10月8日(土) 16:00~19:00

形式：COVID-19の影響を鑑み、広島配信会場とWeb中継のハイブリッド開催を予定

【広島配信会場】ホテルチューリッヒ東方 2001 (<http://www.b-mozart.co.jp/hotel/>)

※感染拡大の状況により、開催方法が変更になる可能性があります。

参加費：1名につき1000円

(現地参加、Web参加どちらも事前振込にて徴収させていただきます。

事前振込がない場合はWeb入室できませんのでご留意ください。)

## 【一般演題】16:00-17:40

座長：山口県立総合医療センター 神経科 診療部長 芳原 輝之 先生

講演①：『ポルチオキセチンの特徴について』

山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座 准教授 松原 敏郎 先生

講演②：『子宮頸がん症例を通して、否認や焦燥・抑うつと意思決定の問題を考える』

広島大学病院 精神科/緩和ケアセンター 講師 倉田 明子 先生

講演③：『COVID-19流行による医学部卒前教育の変化

～うつ病を合併した肺がん模擬症例を用いた教育実践報告～』

高知大学医学部附属病院 緩和医療科 助教 掛田 恭子 先生

<Coffee brake 17:40-18:00>

## 【特別講演】18:00-19:00

『がん患者のうつ病、うつ状態の評価とケア：最新の知見も含めて』

名古屋市立大学 医学研究科精神・認知・行動医学分野 教授 明智龍男 先生

共催：中国四国 GHP 研究会

代表世話人 和田 健 (広島市立広島市民病院 精神科)

当番世話人 松原 敏郎 (山口大学大学院 高次脳機能病態学講座)

武田薬品工業株式会社・ルンドバックジャパン株式会社

以下のいずれかの方法で、事前申込みをお願い致します。

お申込み期日：10月5日（水）迄

① 二次元バーコードからのお申込み（推奨）

右の二次元バーコードを読み取っていただくと、  
『事前登録フォーム』が起動します。



② メールアドレスへのご連絡

ご施設名・ご芳名・ご職種を記載の上、

下記メールアドレスまでメールを送付ください。

送付先：[toshiki.okumura@takeda.com](mailto:toshiki.okumura@takeda.com)（武田薬品 奥村 宛）

武田薬品工業株式会社 奥村 行

FAX：083-972-3622

第28回 中国四国 GHP 研究会

●ご所属：

\_\_\_\_\_

●ご芳名：

\_\_\_\_\_

●ご職種：

\_\_\_\_\_

●メールアドレス：

\_\_\_\_\_

受領後、武田薬品担当者より視聴 URL をご案内致します